



「人として生きていくための勇気と自信を培うサポート活動」

「40歳くらいまでのひきこもり経験者・不登校・学校中退・対人不安・心理面サポートを必要とされる方への居場所提供・フリースクール活動・個別指導学習サポート・家庭教師・家庭訪問・カウンセリング面談・各種相談活動」

## 「VRって何のこと」

「仮想現実」(バーチャル・リアリティ (Virtual Reality)) というコトバが日常語として使われるような時代になってきている。

このコトバを耳にし始めた頃は「あきらかに現実と違う情けない創造物(構成物)」だったが、最近は静止画像ならモニター画面で見える限り「写真(リアルの複写)」なのか「CG(電子的に構成された画像)」なのか判別できないようなものが出始めた。

ただ、考えてみると「仮想現実」というコトバは反対語(あるいは対義語)がくっついたコトバになっていて、この時点で分けがわからない表現になっている。

このコトバの意味を考えようとすると、あれこれ検討するほど意味不明になってしまうように感じる。

スマホが普及する前に、「携帯電話」がどうして、あんなに多機能、多彩な存在になったのかを考えたことがあったのだが、その時に到達した考えは「携帯電話」が「携電(けいでん)」と略されずに「携帯」と略されたのが原因では無いか……という考えだった。

もし、「携電」と略されていたら、「カメラ機能」「お財布機能」「ゲーム機能」は(くっついたとしても)あくまで「電話のおマケ」というイメージになって、それほど高機能化しなかったのでは無いかと想像したのだ。「携帯」と略したので、それぞれの機

能が「携帯できる」ように高機能化していくことができたのでは……という考えだ。

「携帯カメラ」「携帯ゲーム(機)」「携帯時計」「携帯計算機」と、どれも「携帯」と言える。

「携帯財布」というのはちょっと変な気もするが、この機能は「携帯銀行」「携帯金融機関」というところまで発展した。

この考えを(無理やりだが)「仮想現実」に導入してみると「仮想現実」を「仮現」と略さずに「仮想」と略して使うようになったとしたら、様々な「仮想」が高機能化していくのでは無いか……ということになる。

「仮想通貨」は話題になったし、ポストペイでもプリペイでもカード支払いは「仮想通貨」に含まれる。

ちょっとハードウェアでの発展がこのところ足踏み状態とも思えるが「仮想人間」ではロボット・アンドロイドがあるし、ソフトウェアとしてAIは「仮想人間」として日々成長を続けている。

「仮想現実」を「仮現」と言わず「仮想」と言うようにすると、さらに多様な物が高機能、高精度になっていくのでは無いか……などと期待してしまう。

ここまでの話は「仮想現実」と「現実」を、当たり前のように「別物として考えた物語」なのだが、「意識」とか「心」ということに関心を向けながら考えると「現実」って何のこと……ということが絡んでくる。

現実とは、まさに現実、リアルそのものであって、「何のこと」っていう発言こ

そ「何のこと（どういうこと）」と言われてしまう。  
以前から「事実のひとつ」だけ「真実は一人にひとつ」だという話を紹介してきたのだけど、「現実」というのも真実と似ていると思えるのだ。

よく知られているのは同じ長さの線を描いて、そこに「外向きの矢羽 (>-<)」や「内向きの矢羽 (<->)」を付けると「外向きの矢羽付き (>-<)」の方が「内向きの矢羽付き (<->)」より線が長く感じられるという「ミュラーリヤーの錯視」など……「錯視」というやつ……。  
他にも、同じ長さの線を「T字型」に配置すると「縦の線が長く見える」という「フィック錯視」とかいっぱいあって、どれも「定規で測った現実」と「見て感じる現実」が違っている。

じゃあ、「現実」はどっちなのか……「同じ長さの線を定規で測って同じ長さという世界」が現実なのか、「定規で測ったら同じと言われているけど、一方が長いとを感じる世界」が現実なのか。  
「現実」ではなくて「事実どっちだ」ということになると「2本の線は同じ長さである」というのが「事実」ということになる。

じゃあ、改めて「現実」は……多くの人が「事実としての情報を聞いた上で眺めてみても、一方が長く見える」というのが「現実」となる。  
そうすると「私たちの感じている現実」は「事実とは似て非なるもの」ということか……それは、なにも前置きが付かない「現実」ということなのか、「仮想現実」というべきものなのか……。  
こんなことを考えてしまうと「VR」って何のこと、どれが「VR」って思えてしまう。  
私たちが「現実と思っていた」ものは「仮想現実」と変わりないのかも知れない。

もしも「赤いネットに入ったミカン」を買って帰ってみたら、「緑のネットに入ったピーマン」が出てきたとか、友達と話をしていたら、目の前でサンガラスの黒服のおじさんに変身してしまったという「現実」を経験したら、あなたは知らない間に「仮想現実」に入ってしまった。（高石 公資）

## イベント紹介・報告

☆11月3日 バーベキュー  
レンタカーで京北町森林公園に行きバーベキューをしました。天気もよく、お腹も膨れ、いっぱい遊びました。



☆11月21日 健康体操教室  
担当スタッフが忌引になり、臨時お休みとなりました。  
☆12月5日 健康体操教室  
今回は第1週での実施となりました。臨時日程でも多く参加者がおられ、皆さん体を動かし、ヒーリングもし、すっきりとなったのではないかと思います。



☆11月16日  
☆12月21日  
ものづくりかふえ

参加者がおらず、スタッフが羊毛フェルトで様々なものに加工できる丸型ボールを作成しました。

☆11月23日 体を動かそう  
ラウンドワン伏見スポッチャ  
朝から夜までいろんなアミューズメントで体を動かし、遊びました。  
バスケット・バッティング・卓球・反復横とび・バレーボール・  
フットサル・ドッジボール・ゲームセンター・カラオケなどなどよく体を動かししました。



☆12月1日体を動かそう ボウリング  
寒くなってきましたので、室内での体を動かそうになりがちで今回もボウリングを実施しました。  
今年度2回目のボウリングでした。

☆12月1日  
パレット河原町イルミネーション点灯式  
毎年恒例のパレット河原町商店街イルミネーションの点灯イベントです。  
聖歌隊の合唱を一緒に歌って、点灯！  
年末の商店街を照らしました。

☆11月24日 カラオケ会  
フリータイムでのカラオケ実施でしたが11人でのカラオケになったので1時間近くに1回の割合での回転でしたが皆さん楽しんでくれたようでした。



☆12月8日  
出かけよう 二条城ライトアップ  
二条城のライトアップです。とても幻想的な感じもあってきれいでした。メインのところは1時間待ちの行列で時間的に断念、次回こそ。



☆12月9日京都市ユースサービス協会主催 講演会・交流会 ブース参加  
今回も不登校・ひきこもりなどの状況にある方の保護者等の方を中心にたくさんの方が参加されました。一人で抱え込まずこうしてちょっとでも機関などつながり、本人の状況の改善を目指すことになっていけることを願います。



☆12月16日 岡崎フリマ  
天気が心配だったものの無事実施されました。

☆12月23日 クリスマス会  
☆12月23日 出かけよう  
ロームと京都駅イルミネーション  
毎年恒例のクリスマス会です。ケーキを作り、パーティをし、楽しい時間を過ごせました。うまい棒争奪ビンゴもKSC Eの定番になりつつあります。その後西京極のロームのイルミネーションと京都駅のイルミネーションに行きました。



フェイスブックページ  
<https://ja-jp.facebook.com/ksce.apollo>

Twitter ID 「ksceleader」  
ブログ [http://ksce.jpn.org/?page\\_id=1234](http://ksce.jpn.org/?page_id=1234)

KSC E 全般もしくはは通信に関するお問い合わせ・ご意見は、下記までお願いします。  
E-mail の場合 soudan@ksce.jpn.org 、 TEL/FAX の場合 075-211-0750、郵便は〒604-8005 京都府京都市中京区三條河原町東入ル恵比須町 439 早川ビル 6F 京都教育サポートセンター KSC E 通信係 まで。  
2019年1月16日発行 特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター